

宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業（SERVISプロジェクト）

令和4年度予算額 19.3億円（8.4億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 世界的な衛星コンステレーションビジネス（※）の進展により、宇宙産業のゲームチェンジが起こりつつあります。こうした中、我が国の宇宙活動の自立性を維持していくためには、民生分野の優れた部品・技術を活用して人工衛星等の低コスト化、高性能化、短納期化を実現すると共に、様々な産業における衛星データの利活用を促進する必要があります。

（※）超小型・小型衛星を多数打ち上げて一体的に運用するビジネスモデル

- このため、①部品開発の参入障壁やコスト源となっている各種試験の効率的な試験手法・試験環境開発、②部品の宇宙空間での正常な動作確認のための軌道上実証支援、③民生技術を活用した部品を搭載した超小型衛星汎用バスの開発・軌道上実証支援、④⑤特定地域を対象に複数種類の衛星データを調達し、様々な産業・地域の課題解決に資する衛星データ利用ソリューションの開発支援を行います。

成果目標

- 民生技術を活用した機器の実用化数5件を目指します。
- 超小型衛星の汎用バス（100kg級、6U）を開発・実証します。
- 部品の試験プラットフォームサービスを構築します。
- 衛星データを活用したソリューション3件の事業化を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

民生技術を活用した宇宙機器の試験・開発・実証支援

【部品の試験環境整備】＜①(委託)＞

- 低コスト、高性能、短納期な地上の民生技術を活用した宇宙用部品・コンポーネント（以下、「部品」という。）の実用化に向けては、宇宙向けの専門的な各種試験（放射線、熱、電波、振動、衝撃等）がボトルネック。このため、地上における効率的な試験手法・試験環境を開発します。

【部品の宇宙空間での軌道上実証支援】＜②(補助)＞

- 部品の採用に当たっては、商慣行上、宇宙空間での軌道上実証による信頼性確認が求められます。このため、本事業では、国際競争力を持ち得る部品の軌道上実証を支援します。

【超小型衛星の汎用バスの開発・実証支援】＜③(補助)＞

- 民生技術を活用した部品の活用や、量産・コンステレーション化を見据えた設計・製造・運用技術等により、低価格・高性能化を実現し、かつ様々なミッションに活用できる、超小型衛星の汎用バス（100kg級、6U）の開発及び軌道上実証を支援します。

衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援

【衛星データ利用環境整備】＜④(委託)＞

【衛星データ利用ソリューション開発支援】＜⑤(補助)＞

- 衛星データを活用した様々な産業の生産性向上にコミットする複数の地域において、ソリューション開発に必要な衛星データを課題・テーマを絞り一括調達し（④）、課題・テーマに応じたアルゴリズム・ソリューションの開発を政府衛星データプラットフォーム「Tellus（テルス）」上で行うことを支援します（⑤）。